

※縁取り 0.5mm

①剥片尖頭器

発見年：2010年 場所：都城市山之口町（山之口小学校）

現物：長さ約7cm

剥片尖頭器は、石を割って作られた、ナイフのように続いた狩り道具です。木の棒の先につけた槍のようを使われたと考えられています。2万年以前（旧石器時代）の道具で、現在、都城市内で最も古い石器です。

②五十市式縄文土器（市指定文化財）

発見年：昭和37(1962)年 場所：都城市今町（旧五十市村）

現物：高さ25.3cm

今から約8,000年前（縄文時代早期）に作られた土器です。貝殻で文様をつけることが多い南九州の縄文土器の中で、全面に縄目文様をついたとても珍しい土器です。また、都城市内の地名がついた唯一の土器です。

③手向山式縄文土器の壺

発見年：昭和63(1988)年 発見場所：丸谷町

現物：高さ45cm以上

今から約8,000年前（縄文時代早期）に作られた土器です。この時期に作られた壺は珍しく、日本でも最古級段階の壺として位置づけられています。

④乙房神社の田の神様

現物：高さ約60cm

右手にしゃもし、左手に茶碗を持っています。今から約200年前に建てられたと言われています。

田の神様（タノカンサア）は、水田の守り神として広い田んぼが見渡せるところに置かれていました。都城市内には178体ほど確認されており、農民や神様などさまざまな姿形で作られています。田んぼの近くに行ったときは、ぜひ探してみてくださいね。

⑤都城県印章（市指定文化財）

現物：寸法 縦横6.7cm、高さ6.3cm

材質 ツガ

明治時代にあった「都城県」で使われた印鑑です。「都城県（県）印」と彫られています。

都城県は、1871(明治4)年11月から、1873(明治6)年1月まで存在し、現在の県知事の役割を果たしたのは、桂太郎でした。都城の人びとの暮らしを良くするためにこの印鑑を使っていましたのしよう。

カラーケース：PP 本体：樹脂
袋：PE

製作元 株式会社九州文化財総合研究所
〒870-1133 大分県大分市大学宮崎 1387-1
<https://www.bunkazai.net/>

**注意！ お買い上げのお客様へ
必ずお読みください**

●本商品は対象年齢15歳以上です。対象年齢未満のお子さまには絶対に与えないようご注意ください。誤飲による窒息などの危険があります。

●お子さまが誤って飲み込まないようご注意ください。お子さまの手の届かない場所で保管してください。

●変形・火災などの原因となりますので、高温/低温・多湿/直射日光の当たる場所での保管や、火気に近付けないでください。●投げたり高い場所から落とす、重いものを乗せるなど乱暴な取り扱いは破損・変形やけがの原因となるためおやめください。●強い力で擦ると色が移る場合があります。●本商品は食品ではありません。絶対に口に含まないでください。●本商品を使用し、万が一事故や怪我・破損、または本商品以外への物的損害等については、弊社では責任をおいかねます。

都城歴史資料館
新市誕生20周年記念事業
都城築城650年記念特別展
オリジナルフィギュアコレクション

都城市の文化財コレクション

①剥片尖頭器



②五十市式縄文土器



③手向山式縄文土器の壺



④乙房神社の田の神様



⑤都城県印章



※製品と写真は一部異なる場合があります。

監修：都城市教育委員会文化財課
協力：乙房地区自治公民館